



チャレンジ  
Challenge



宮古市の再エネ導入を促進する

ゾーニングの取り組み



 宮古市



## 持続可能な社会の構築に向けた動き

温室効果ガスの過剰な排出によってもたらされる地球温暖化は、集中豪雨などに伴う自然災害の激甚化、農作物の気温の上昇による不作や水揚げされる魚種の変化、熱中症や熱帯性の伝染病の増加等私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

国においては、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを掲げ2030年度までに2013年度比46%の温室効果ガスを削減することを国際公約として決定しました。

地球温暖化問題の緩和や化石資源への依存を低減し、持続可能な社会を構築していくため、温室効果ガスの排出が少ない再生可能エネルギーの導入が加速しています。

## 宮古市における再生可能エネルギー導入推進の取り組み

2020年9月  
宮古市再生可能  
エネルギービジョンを策定

2020年11月  
宮古市ゼロカーボンシ  
ティを表明

2022年3月  
宮古市再生可能エネルギー  
推進計画を策定

本市では「宮古市東日本大震災復興計画」において復興重点プロジェクトとして再生可能エネルギーの導入推進を図ってきました。

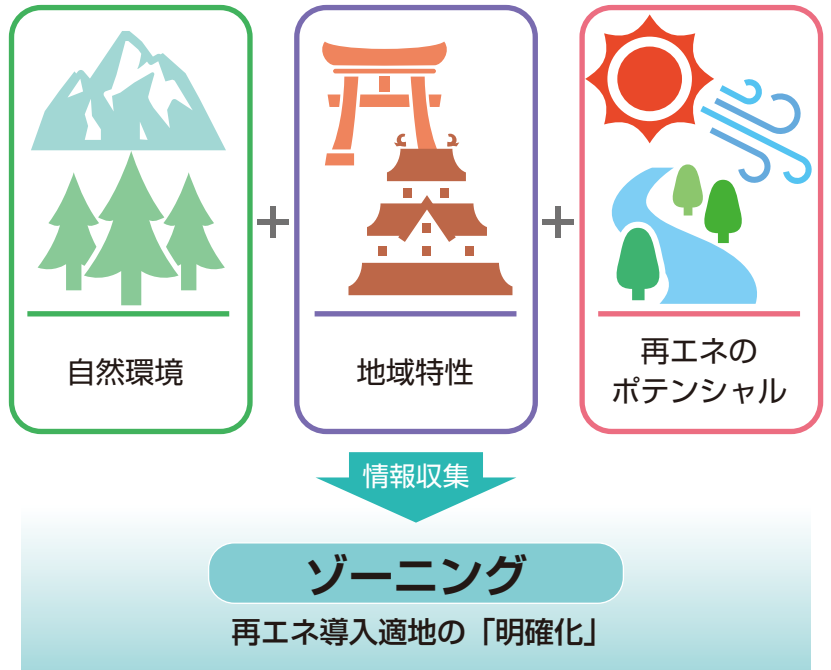
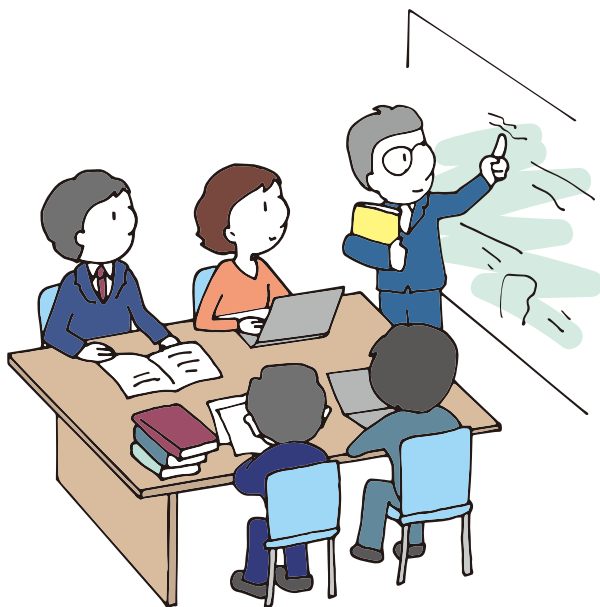
2020年9月には、「宮古市再生可能エネルギービジョン」を策定し、『再生可能エネルギーの地産地消を通じた地域内経済循環の創出による持続可能なまちづくり』を基本目標として取り組みを進めています。

また、2020年11月に、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の排出を2050年までに実質ゼロを目指す「宮古市ゼロカーボンシティ」を表明しました。2022年3月には、本市のエネルギー政策と地球温暖化対策が調和した再生可能エネルギーの導入などの具体的実現の道筋を示すために「宮古市再生可能エネルギー推進計画」を策定しました。



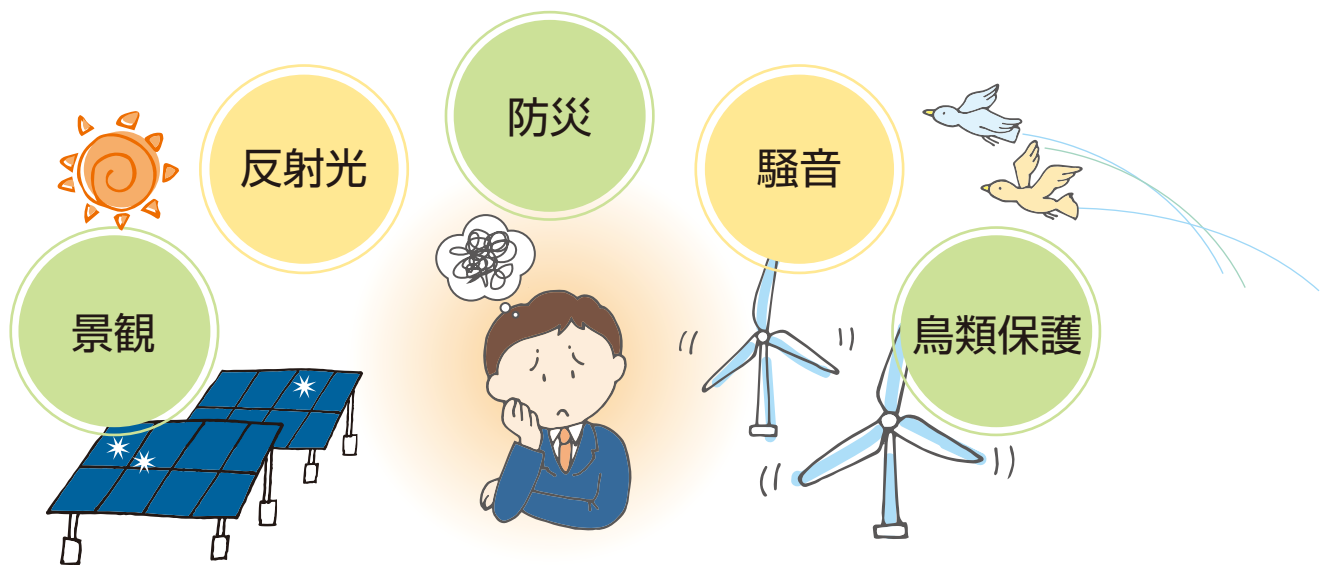
## ゾーニングとは

ゾーニングとは、自治体・地域住民・専門家が協力することで、地域が「納得、できる再生可能エネルギーの導入適地を明確にすることです。



## なぜ、ゾーニングが必要なのか

再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、自然環境を悪化させる事例や地域住民とのコミュニケーションが十分に取れていない事例等が見られます。



このようなトラブルを未然に防止しつつ、再生可能エネルギーを効率的に普及拡大するため、ゾーニングが必要です。

ゾーニングでは、自然環境の的確な把握や地域住民との意見交換が重要となります。

## 目的と効果



### ゾーニングマップの作成・公開

太陽光、陸上風力、洋上風力、小水力などの発電種別ごとにゾーニングマップを作成し、市ホームページなどで公開します。

ゾーニングマップでは、保全エリアや導入適地(促進・調整エリア)を区分けします。事業者は、地域固有の情報を事前に把握し、再生可能エネルギー事業を効率的に進めることができます。



### エリア区分

#### ● 保全エリア

自然環境・生態系・景観等の保護・保全の観点から、事業による開発を避けるべきエリア。

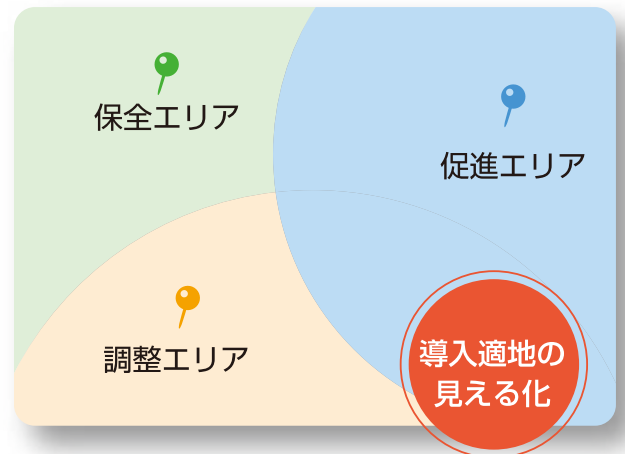
#### ● 調整エリア

保全エリア以外の範囲で、事業者が関係機関や地域と事業範囲等を調整しながら事業を実施できるエリア。

#### ● 促進エリア

保全エリア以外の範囲で、事業性があり、地域の合意形成が図られた再生可能エネルギーの導入を促進しうるエリア。

● マップの作成イメージ



※エリアの名称や内容については事業の中で検討するため、変更となる可能性があります。

### 期待される効果

#### 効果1

保全エリアを明確にすることで、地域の「大切な自然環境を守る」ことができる。

#### 効果2

導入適地を「見える化」することで、再生可能エネルギーを「効率的に普及」させることができる。

#### 効果3

地域住民と意見交換をすることで、再生可能エネルギーの導入における「トラブルを未然に防止」することができる。

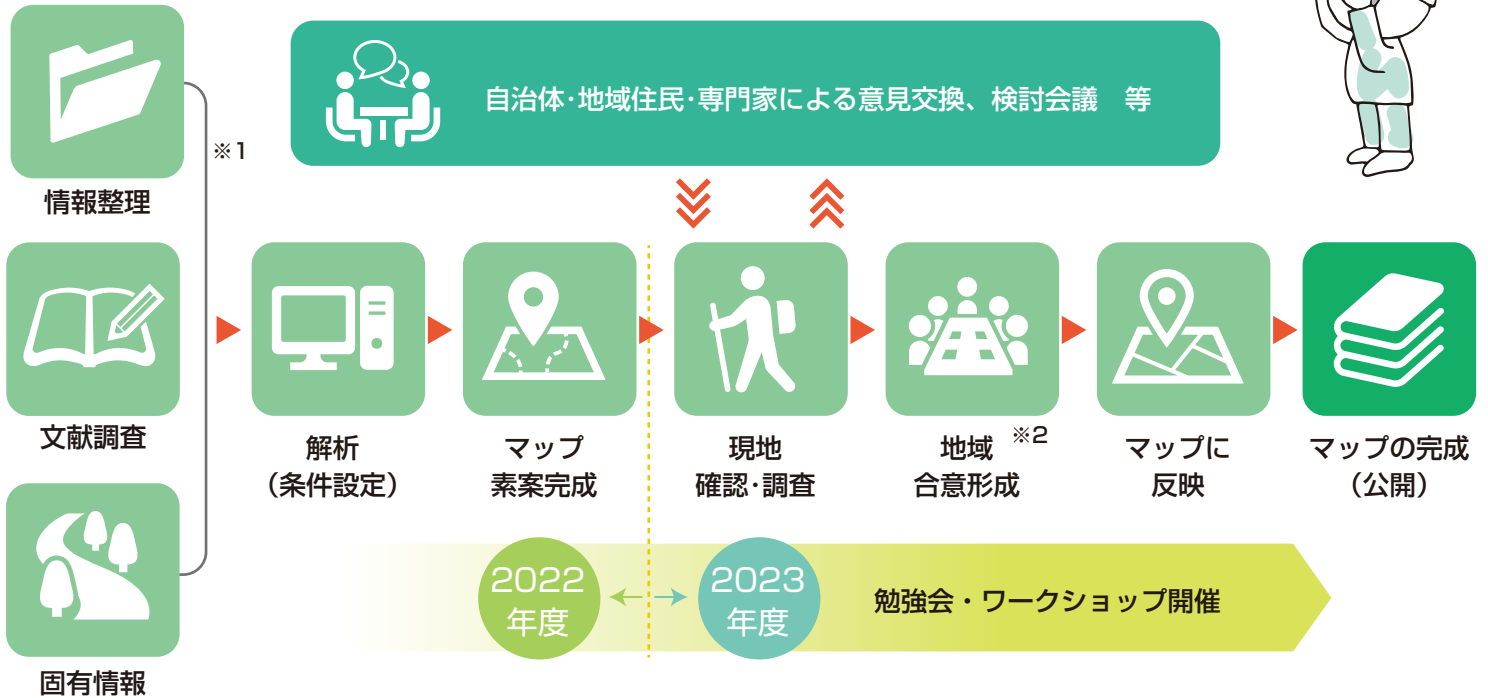




## プロセス

宮古市再生可能エネルギーゾーニング事業は、  
2022年度（令和4年度）から2023年度（令和5年度）の2か年で実施します。  
まず、関連する法律や再エネポテンシャル、地域固有の情報等を調査・解析し、  
マップの素案を作成します。  
その素案をもとに地域住民や専門家からの意見を反映させることで、  
実効性の高いゾーニングマップの完成を目指します。

### マップ作成までのステップ



※1 環境省のEADAS（環境アセスメントデータベース）およびREPOS（再生可能エネルギー情報提供システム）をベースに、文献情報や地域の固有情報を収集します。

※2 地域の文化やコミュニティの在り方などの要素をゾーニングに含めます。

### 2050年カーボンニュートラルへ

宮古市では、2050年までにカーボンニュートラルを達成し、  
持続可能なまちにするため、地域と共生した再生可能エネルギーの普及・拡大を目指します。





宮古市公式イメージキャラクター  
(左: サーモンくん 右: みやこちゃん)



宮古市

エネルギー・環境部 エネルギー推進課

〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目1番30号 TEL.0193-68-9079 FAX.0193-63-9114

✉ [energy@city.miyako.iwate.jp](mailto:energy@city.miyako.iwate.jp)